

# 始業式 校長挨拶

平成31年4月5日

いよいよ新年度の本荘高校での学校生活が始まりました。新元号「令和」が発表されましたが、今年は皆さんにとっても日本という国にとっても新たなスタートとなる年です。3年生は最上級生として学校行事や部活動をリードしてください。また進路目標の達成に向け全力を尽くしてください。2年生は中堅学年として自らの進路志望を明確なものとし、本荘高校を支える手伝いをお願いします。

1年のスタートに当たり二つのことをお話しします。

一つ目は、「周囲への感謝を忘れず、人から応援される人になって欲しい」ということです。皆さんは高校生活を終われば進学や就職等、各々の道に進みます。しかしやがて誰もが皆、いずれ社会に出て長い人生を送ることになります。人生はいつも順風満帆とは限りません。ここで皆さんの心に留めて欲しいことがあります。それは、社会では誰もが周りの人々から支えられ、助けられて生きていくことになるということです。自分を一番に考えるのは当たり前のことですが、誰でも人の役に立ち、喜ばれることを嬉しく感じる心を持っています。自分のやるべきことを責任をもって果たし、周囲への感謝の気持ちを忘れなければ、困った時に助けてくれる人が現れると思うのです。「この人のためなら頑張ろう、この人のためなら一肌脱ごう」そんな周囲から応援される人になって欲しいのです。

二つ目は、「失敗を恐れず、いろんなことに前向きに挑戦してほしい」ということです。戦争反対を唱え続け、3年前101歳で亡くなった横手市在住のジャーナリストむのたけじさんにこのような言葉があります。「失敗はなるたけしないほうが良いに決まっている。けれども、真に怖いのは失敗することではなく、いい加減にやって成功することだ」

私達は日々の生活において、「こうありたい」と願い、様々な挑戦をします。しかし、努力して乗り越えようとしても上手くいかないことが多いのも事実です。時々、努力もしないのに上手く出来てしまうことがあります。この時ほど注意をしなければなりません。安易な成功は失敗だけでなく、その後の努力しようとする気持ちまで遠ざけ、自らの成長の機会を失うことになります。失敗や悔しい気持ちが人間を成長させてくれるものです。苦しみながらも努力して自分の夢を成し遂げた時ほど大きな喜びはありません。皆さんには夢の実現に向けて最大限の努力をし、日々挑戦を続けて欲しいと思います。たとえその挑戦が上手くいかない結果となったとしても、必ずこれからの長い人生の糧となるはずで、どんな経験でも無駄になることはないのです。常に前向きに挑戦するという気概を持ち続けてください。

新年度の始まりに当たり、二つのことをお話ししました。一人一人が、高校生活を大いに楽しみながらも、周囲への感謝の気持ちを忘れず、新しいことに挑戦し、充実した1年にしてください。